

教員紹介

丹生 晃隆
Tansho Terutaka



自己紹介

地域資源創成学部において、ベンチャービジネスを担当する丹生です。これまでに、国の関連機関・シンクタンクにおいて、国内外のベンチャービジネスの調査、地域の機関において、ベンチャービジネスの支援、大学で、企業(産)や大学(学)、自治体(官)を繋げるコーディネート業務に携わってきました。「地域」という現場をフィールドとしながら、起業家という「人」に近いところで仕事をしてきました。

担当講義(ベンチャービジネス論)

この講義では、ベンチャービジネスの意義や歴史的な背景、経営学におけるベンチャービジネスの位置づけについて学びます。実践編としても、アイデアの創出から収益を生むビジネスモデルの構築、ビジネスプランの立案、ベンチャーファイナンスの基礎について学びます。また、実際に起業された方による講義や、自らがベンチャービジネスの実践者となる場面を想定したケースディスカッション、最後に、宮崎県の地域課題を踏まえたビジネスプランの作成を行います。

ベンチャービジネスというと、実際に「起業」をすることを思い浮かべる人が多いかもしれませんが。起業することも一つの道ですが、新しい事業を立ち上げるためのマインド「アントレプレナーシップ(起業家精神)」は、どんな組織においても求められるものです。講義では、ベンチャービジネスの基礎的な理解だけでなく、自らが実践者となるノウハウとマインドを習得することを目指します。

受験生メッセージ

新学部というと不安もあるかもしれませんが(そういう私も、大学は設立2年目の新学部でした。)でも、これから新しい学部をつくっていくという楽しみもあります。地域資源創成学部という新しい学部において、新しい「モノ」や「コト」を一緒につくっていきませんか。

担当科目: ベンチャービジネス論、ビジネスプランニング、経営学概論、技術経営論、地域産学官マネジメント論

卒業後の就職イメージ: 企業・NPO・地方自治体・団体などにおける**新事業担当**(様々な経験を積んだ上で)
地域資源等を活用した**起業や事業経営** など